宇都宮市立錦小学校　学校だより

にしきの子

第６号　令和７年１０月１０日　発行者　校長　大森信二

学校教育目標（合言葉）
一、しっかり学ぶ　錦の子
一、よりよく生かす　錦の子
一、なかよく生きる　錦の子
一、元気でがんばる　錦の子

１学期終業式・表彰式

１０月１０日（金），業間に１学期終業式を行いました。児童には，粘り強く，一生懸命に取り組む「骨のある人」になって欲しいという話をしました。

また，１０月８日（水），全校朝会を行い，教育長奨励賞の受賞者と様々な分野で活躍をした児童を表彰しました。受賞した児童は右のとおりです。

名　　称		学年	氏　名
第48回栃木県学生音楽コンクール	ピアノ部門　金賞	6-2	小牧　赳夫
		5-1	佐々木琴音
第47回宇都宮市小学生水泳競技大会	4年女子　２００m 個人メドレー1位	4-1	福田　華子
	4年女子　５０m 自由形1位		
	4年女子　５０m バタフライ1位		
第17回宇河地区フレッシュバスケットボール大会	優勝	3-2	伊勢　直隼
			藤原　蓮
第42回六校対抗学童軟式野球大会	準優勝	6-1	山本　龍輝
宇都宮市小学生柔道大会	小学校4年生４０ｋｇ以下級　第３位	4-1	伊藤　桃々

名　称	学年	氏　名
宮っ子心の教育表彰　教育長奨励賞	1-1	須山栞
	1-2	軽野杏優菜
	2-1	木村　統幸
	3-1	飯島　優月
	3-2	岩崎　結愛
	4-1	粂川　優翔
	4-2	山下　未織
	5-1	佐藤　ゆう
	5-2	鈴木　陽彩
	6-1	齋田　奈那
	6-2	小野寺　陽

宇野 姫菜 先生お別れの会

１年２組担任の 宇野 姫菜 講師は，１０月１０日（金），本校での勤務が最終日となりました。全校でお別れの会を行い，児童に挨拶をしました。今まで大変お世話になりました。

松村 百香 教諭が１０月１６日（木）に復職し，１年２組を担任します。よろしくお願いいたします。

地域学校園「おにぎりの日」

１０月１日（水），食育の推進を目的とした「おにぎりの日」を実施しました。９月２２日（月）から３０日（火）までをチャレンジ期間とし，児童は，おにぎり作りの計画を立てたり，家族と一緒におにぎりを作る練習をしたりしました。当日は，手の込んだ創作おにぎりや定番のおにぎりを手にし，とても賑やかで楽しい給食の時間となりました。

学校電話の自動音声応答の時間の変更等について

～宇都宮市教育委員会より～　　学校電話の自動音声応答の時間が変わります。

日頃より本市教育活動に温かいご支援を賜り，深く感謝申し上げます。夜間休日等の学校への電話連絡につきましては，皆さまのご理解のもと，自動音声応答を導入しておりますが，教職員の働き方改革をさらに推進するため，２学期より，原則として，勤務時間（8：10～16：40）外は自動音声応答とさせていただきます。

※ 本趣旨に鑑み，緊急時以外は，時間外の来校もお控えください。

※ 児童生徒の生命・安全に関わる緊急事案につきましては，警察や消防に通報後，教育委員会緊急電話（632-5115）までご連絡ください。

※ 「校外行事の欠席連絡を早朝に指定している場合」や，「学校から皆さまに電話の折り返しをお願いしている場合」等は，自動音声応答の時間を変更することがあります。

地域学校園小中合同あいさつ運動

９月３０日（火），１０月２日（木），３日（金），第２回陽北地域学校園あいさつ運動を実施しました。錦小の児童，陽北中の生徒，両校の教職員があいさつを交わし，交流を深めながら人間関係を築いていくことを目的としております。笑顔でいつも以上に元気にあいさつをする児童の様子が見られました。

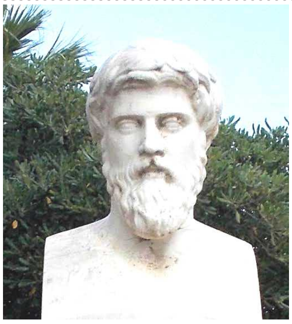
音楽鑑賞会

９月２９日（月），「宮ままブラス」による音楽鑑賞会を実施しました。「宮ままブラス」は，２００８年８月に結成された宇都宮市で活動しているママさんブラスです。途中から本校職員も演奏に参加し，代表児童が演奏者の間近で見学することができました。「宮ままブラス」のメンバーとして活躍している本校の保護者もいらっしゃいます。アットホームな雰囲気の中で，１時間があっという間でした。皆様，ありがとうございました。

第２回避難訓練（竜巻）

１０月７日（火）３校時，竜巻を想定した避難訓練を実施しました。校舎内での避難方法に限らず，野外で竜巻が発生した際の避難の仕方や身の守り方，気をつけるべき注意点など，映像を交えながら，丁寧に説明をしました。

わが身に生ずることはすべて自分の責任、原因はすべて自分にある



古代ローマ帝政期に生きたギリシア人の哲学者で著述家でもあるプルタルコスは，「人間は自分が失敗したのは能力や努力のためではなく，運のせいだと思いたがるものだ」と言っています。確かに人間は，事がうまく運ばなかった原因を，運や境遇のせいにしがちであります。仮に本当にそうであっても，失敗の原因や責任を他に転嫁することは好ましくはありません。反対に成功した人は，「わが身に生ずることはすべて自分の責任」「原因はすべて自分にある」と，失敗の原因を謙虚にとらえ反省しています。このように謙虚な姿勢で失敗をバネにし，日々進歩向上している人は，周りから認められ好結果がついてくるものです。

また，パナソニック（旧松下電器産業）の創業者で，「経営の神様」とも呼ばれた松下幸之助氏は，「行きづまりの原因というのは，外部なりいろいろな事情はあるにしても，そのほとんど１００%，少し割引くとしても９５%までは自分にある。決して外部にあるのではない。そういう考えでやっていけば，必ず新しい工夫が湧いてくる」と語っています。この己に厳しい姿勢が，零細企業からスタートし世界の松下まで発展したバックボーンになっていたものと思われます。

私たち教育に携わる学校関係者も然り，うまくいかない様々な原因をまず自分たちの中にあるという考えで一つ一つ反省し，検証して，改善していかなければなりません。教育の専門職という自覚と誇りを胸に，子供たちへの接し方や教え方，教える内容などを反省し，失敗をバネに謙虚な姿勢で日々努力を重ねていくことが，授業力や指導力の向上につながるものと信じ，取り組んでまいりたいと思います。

本校のＨＰは日々更新しています。
最新情報はＨＰでご確認ください。

にっこりえがお
しっかりまなぶ
きたえるからだ